

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第2回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：石川聡子 所属：ひらかた環境ネットワーク会議

課題名：環境科学教育の実験教材の開発・実践による地域NPOの学校支援

### 1. 課題の主旨

環境科学教育に関する実験装置を作成し、酸性雨、地球温暖化、オゾンホール、水の浄化のしくみについての環境問題を学習するためのプログラムを開発し、そのなかに演示実験の扱いを位置づける。また、このプログラムを用いて、各学校の総合的な学習の時間を利用して環境科学教育についての出前授業を実施する。

### 2. 活動状況

以下の日程で、市内学校に出前実験授業を実施した。

#### ①枚方市立枚方第二小学校

実施内容：地球温暖化、酸性雨、エネルギー体験、自然観察、水の浄化ほか

実施日：平成18年5月15, 22, 29日、6月15, 19, 26日、7月10日、10月16, 23, 30日

#### ②殿山第2小学校5年生

実施内容：温暖化・酸性雨・水質と浄化

実施日：平成17年11月2日

#### ③樟葉南小学校5年生

実施内容：温暖化・酸性雨・水質と浄化

実施日：平成17. 11. 16

#### ④平野小学校5年生

実施内容：温暖化・酸性雨・水質と浄化

実施日：18. 01. 16

#### ⑤平野小学校5年生

実施内容：温暖化・酸性雨・水質と浄化

実施日：18. 06. 19

#### ⑥樟葉南小学校4年生

実施内容：水の浄化

実施日：18. 06. 27

#### ⑦長尾小学校4年生

実施内容：エネルギーを作ろう

実施日：18. 07. 06(木)

#### ⑧招提中学校

実施内容：川の水質検査

実施日：18.07.24(月)

⑨長尾小学校4年生

実施内容：生活とリサイクル

実施日：18.10.11(水)

⑩長尾小学校5年生

実施内容：酸性雨：pH

実施日：18.10.31(火)

### 3. 結果

1. 実験装置の作成とそれを活用した出前授業が昨年度より多くの学校で実施できた。
2. 授業の実施前後に打ち合わせと反省会のフォローアップが定着した。そのことで、出前授業に対する担当教諭の要望や評価を情報収集することができ、授業を改善した部分がある。
3. 学校によっては学校区のコミュニティの地域住民が授業をサポートする体制が定着した。
4. 学校によっては授業前後に給食を教室で児童といっしょに取ることが教師から提案され実現した。このことで、児童とのコミュニケーションをより深められるようになった。
5. 出前実験授業のメニューおよび活動メンバーが増加した。
6. 出前授業を市の環境担当課職員との連携や他の環境NPOと連携してできるようになった。
7. 学校から出前授業に対して謝礼が支払われるようになった。
8. 活動の実績をちらしにまとめて印刷・配布したが、その際市教育委員会主催の校長会でPRする機会を許された。
9. 昨年度出前授業をおこなった一小学校が今年度正課クラブとして環境クラブを立ち上げ、1年間を通して当NPOと小学校区のコミュニティ協議会が連携して環境教育の出前授業をおこなっている。

### 4. 今後の課題と発展

今年度、昨年度にわたり日産科学振興財団から助成金を受けたことが、当NPOの小学校への環境出前授業を実現させた。活動のプランと人的資源はあったがマネタリーリソースが欠いていたために具体的な活動ができずにいた。今後助成金がなくなるため外部資金の導入が最大の課題である。学校・NPO・コミュニティの連携パターンが本活動によって生まれ定着しつつあるので、これを地域の特性に合わせてながら市域に拡大していく方策が実現できればこれが当活動の発展モデルになる。

### 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

2カ年にわたり助成金を採択いただきましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。